

宮ヶ瀬ダムの洪水調節について

平成24年6月19日から20日

～ 台風4号に伴うダムの洪水調節効果 ～

台風4号に伴う降雨で、宮ヶ瀬ダム上流域では19日午後12時から雨が降り始め、20日午前4時までの累加雨量は232mmで、時間最大雨量は19日午後9時から午後10時までの間に44.4mmの降雨となりました。

この降雨による宮ヶ瀬ダムへの流入量は、最大で毎秒576m³（19日午後11時）に達しました。（ダム運用開始以来7番目）

宮ヶ瀬ダムでは、この流入量に対し毎秒476m³をダムに貯留し、下流河川の水位の低減を図りました。（東京ドーム約6杯分）

この結果、ダム下流の中津川の才戸橋地点（厚木市三田付近）において、約108cmの水位低減効果があったものと推測され、もしもダムが無かった場合、避難判断水位を約5cm超えていたと予想されます。

今後も洪水に対して適切に対応してまいります。

平成24年6月21日
国土交通省関東地方整備局
相模川水系広域ダム管理事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ
神奈川建設記者会
厚木記者クラブ

問い合わせ先

名称 国土交通省相模川水系広域ダム管理事務所
住所 神奈川県相模原市緑区青山字南山2145-50
広域水管理・品質確保課長 羽澤敏行
TEL 046-281-6911（代表）

宮ヶ瀬ダム の 状 況 (20日14時00分)



才戸橋下流の状 況 (20日10時00分)



※中津川を利用の際は、宮ヶ瀬ダムの放流状況等を確認の上、増水に注意して下さい。(URL <http://www.ktr.mlit.go.jp/sagami/>)

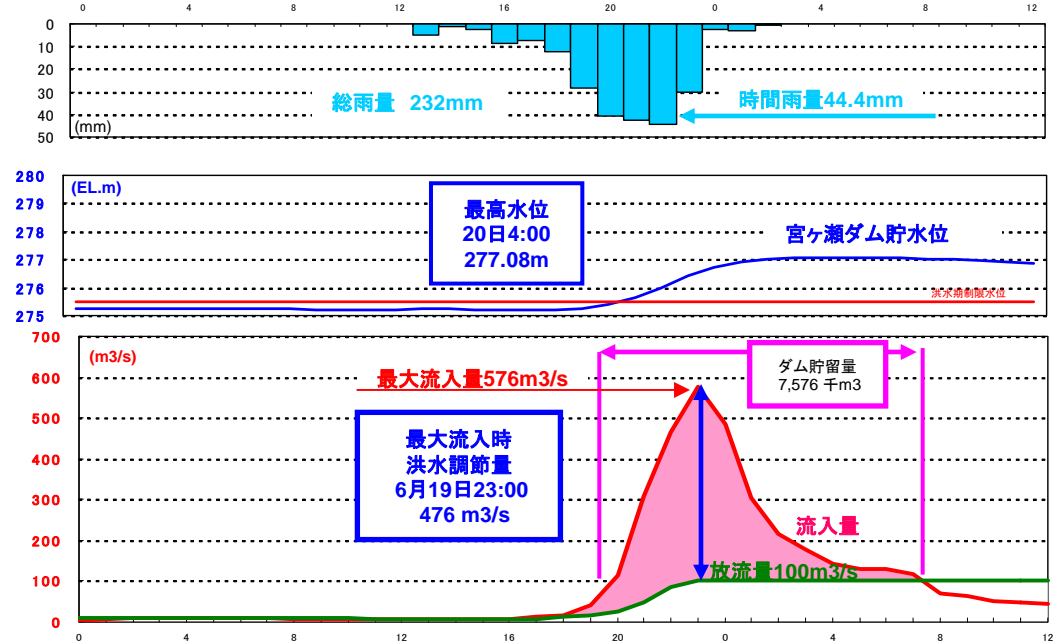
相模川水系 宮ヶ瀬ダムの効果 (平成24年6月 台風4号)

- 台風4号に伴う降雨で宮ヶ瀬ダム上流域において、時間最大雨量が44.4mm、累加雨量232mmとなりダムへの最大流入量は576m³/s (宮ヶ瀬ダム運用開始以来7番目)を記録しました。
- 今回の台風4号において、最大約7,576千m³ (東京ドーム6杯分)の水を貯留し、下流の洪水被害の軽減を図りました。
- ダム下流の才戸橋地点 (厚木市三田付近)では、1.08mの水位を低減させる効果があったものと推測され、もしもダムが無かった場合、避難判断水位を5cm超えていたと予想されます。

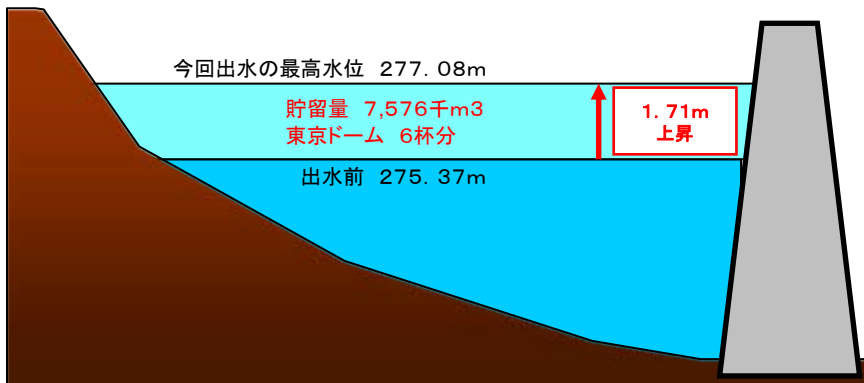
宮ヶ瀬ダム、才戸橋 位置図



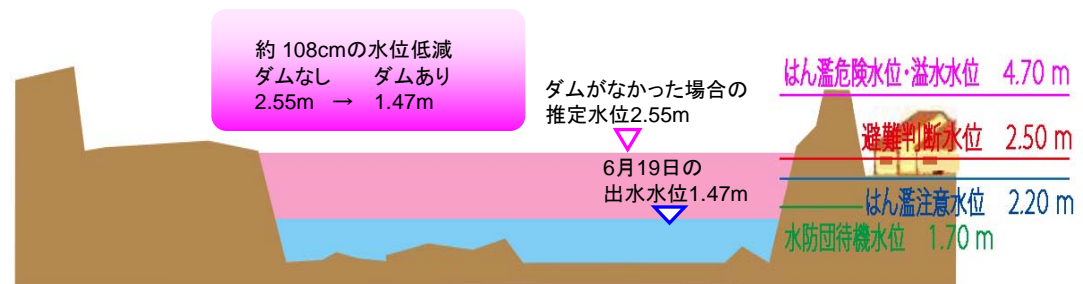
洪水調節状況



台風4号による洪水のダムへの貯留(模式図)



宮ヶ瀬ダムの洪水調節効果(才戸橋)



*ダムがなかった場合の水位は、ダム地点の調節量をダム下流の中津川才戸橋地点の水位低減量に換算しています。